

令和5年4月21日14時00分
近畿地方整備局
(同時発表: 阪神国際港湾(株))

令和5年度中の阪神港における CONPAS 本格運用に向けた議論を加速させます

～阪神港における CONPAS 導入に向けた検討会(第4回)を開催～

近畿地方整備局と阪神国際港湾株式会社では、阪神港における CONPAS の導入に向けて、関係機関の皆様のご意見を頂戴しながら、これまで神戸港 PC-18 コンテナターミナル及び大阪港夢洲コンテナターミナルにおいて CONPAS 試験運用を実施してきたところです。

今般、令和5年度中の阪神港における CONPAS 本格運用に向けて、具体的な議論を継続的に行うべく、「阪神港における CONPAS 導入に向けた検討会(第4回)」を以下のとおり開催いたします。

※ CONPAS(Container Fast Pass の略称)は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム

<開催日程・場所>

1. 日 時：令和5年4月26日(水)14時00分～15時30分
2. 場 所：神戸地方合同庁舎1階会議室(WEB会議併用)
3. 議 事：(1) 前回検討会の概要
(2) 令和4年度の阪神港(PC-18・DICT)における試験運用の結果報告
(3) 令和5年度中の本格運用を見据えた試験運用の実施

<当日の取材について>

- 取材をご希望される場合は、事前に別紙「取材申込要領」を確認のうえ、4月25日(火)12時までに要領の内容に沿ってメールにてお申し込み下さい。
- 冒頭の事務局挨拶(議事開始前)まで傍聴が可能です。その後退席いただきますようお願いいたします。また、会議終了後、16時頃より報道関係者を対象に、現地会場及びWEB会議にて会議内容について説明させていただきます。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、港湾新聞社、神戸経済記者クラブ、
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 たにもと りゅうすけ 谷本 隆介

クルーズ振興・港湾物流企画室長 いわさき なおあき 岩崎 直晃

Tel:078-391-3102(直通)

阪神港における CONPAS 導入に向けた検討会

参加機関（予定）

兵庫県港運協会
大阪港運協会
（一社）阪神港海上コンテナ協会
（一社）兵庫県トラック協会
（一社）大阪府トラック協会
神戸海運貨物取扱業組合
大阪海運貨物取扱業会
（株）上組
商船港運（株）
（株）辰巳商会
（株）日新
日東物流（株）
（株）ユニエツクス NCT
三井倉庫（株）
三菱倉庫（株）
三井倉庫港運（株）
夢洲コンテナターミナル（株）
神戸市港湾局
大阪港湾局
阪神国際港湾（株）
近畿地方整備局 港湾空港部

（オブザーバー）

国土交通省 港湾局
関東地方整備局 港湾空港部

※順不同

取材申込要領

冒頭の事務局挨拶(議事開始前)まで傍聴が可能です。その後退席いただきますようお願いいたします。また、会議終了後、15時45分頃より報道関係者を対象に、現地会場及びWEB会議にて会議内容の説明をさせていただきます。なお、会議終了が予定より遅くなった場合、説明開始時刻が遅れる場合がございますが予めご了承ください。

取材を希望される場合は、電子メールにて以下①から⑤をメール本文に記載の上、
近畿地方整備局 クルーズ振興・港湾物流企画室あて メール:pa.kkr-hnk-crs-prs@mlit.go.jp
4月25日(火)12時までにお申し込み下さい。

- ①会社名
- ②担当者氏名(複数名参加の場合は全員分)
- ③連絡先(電話番号及びメールアドレス)
- ④参加方法(現地参加/WEB参加)
- ⑤取材内容(冒頭の挨拶傍聴/会議後の説明)

申し込みいただいた方には、受付メールをお送りいたします。

また、WEB参加を申し込みいただいた方には、受付メールにて連絡先メールアドレスにWEB会議へのアクセス用URLをお送りいたします。(WEB会議はMicrosoft Teamsを使用します。)

当日は、各取材の開始までにお集まり下さい。

【参考】阪神港におけるCONPASの取組

- CONPASは、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発。令和3年4月より、横浜港南本牧コンテナターミナルにおいてCONPASの本格運用を開始。
- 阪神港では神戸港PC-18及び大阪港DICTにおいて、営業コンテナ(実入り)を対象とした試験運用を実施し、令和5年度中の本格運用を目指している。

阪神港におけるCONPASのイメージ (期待される効果※1)

※1 本格運用開始時(令和5年度中)以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む

※2 阪神港CONPASの独自機能

